

## 目次

|              |       |    |
|--------------|-------|----|
| 再刊の辭         | 出版幹事長 | 1  |
| 就任に際して       | 竹腰健造  | 3  |
| 新時代への住宅と其の對策 | 山口吾郎  | 3  |
| 建築といふコトバ・その他 | 瀧澤眞弓  | 4  |
| 都市計畫と建築取締    | 森田康次  | 6  |
| アメリカ建築の性格    | 棚橋諒   | 9  |
| 復興新住宅に就て     | 塚本猛次  | 11 |
| 時報           | 生田五郎  | 13 |
| 會員の聲         | 小崎修   | 15 |
| 同            | 淺海治平  | 16 |
| 建築文献小録       |       | 17 |
| 會務報告         |       | 18 |
| 役員・幹事・委員氏名   |       | 22 |
| 編輯後記         |       | 23 |

### 臨時建築物等制限 規則印刷物分讓の件

首題の件三月五日説明會の際印刷したもの若干餘分ありますから御希望の向は實費一部五圓並に送料實費を以て御願ちいたしますから御申込み下さい。

### 編輯後記

再刊第一號として1月2月を合併の形にしたのは本年度の發行計畫を検討した結果からで御諒承願したいのである。

幹事一同の希望が毎月發行にあつたことは勿論だが現状の物價變動の有様から安全性を與へなければならなかつたので本年度中に最少限六回、出來れば八回は出したいと希つてゐる次第である。

記事の内容は大きくわけて論説、資料、研究、會員欄等の如くして各方面の勢筆者が適宜希望して御投稿しやすいやうに工夫した積りである。將來もこの方しんですいめたいと思ふので次號以降に新しい欄が必要であれば讀者からの御希望に應じて追加したい。亦餘り希望の無い欄は止めてもよいのである。併し時には特別な題目を中心にして特輯的のものを發行するのよいので、これについても讀者からの希望を御寄せ頂きたい。

編輯上の技術についても未だ未だ研究を要するがこれも號を追つて好ましく新しい氣分を表はすやうに心掛ける積りである。

我々擔當者の希ふところは讀者から愛され、親しまれ更に讀者によつて育て、頂けるやうなものに一日も速く近づきたいのである。更に更に會員諸氏の御援助を乞ふ次第である。

(追記)

本號の表紙は豫て懸賞募集に當選したものをそのまま採用したものである。

### 建築と社會

第 28 輯 第 1・2 號  
毎月1回發行 賣價 1部 金10圓  
昭和22年3月20日印刷  
昭和22年3月25日發行

編輯・發行人 戸川 弘  
發行所 社團 日本建築協會  
大阪府北區中之島3の3朝日ビル  
電話福島(45)2862番  
振替口座大阪39975番

印刷人 稻 仁 作  
印刷所 稻仁印刷所  
大阪市大正區大正通1の26  
電話泉尾(65)1113番